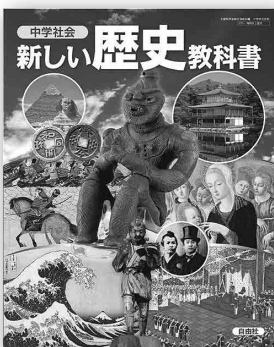


意見広告

自虐と不正 教科書検定が日本を滅ぼす!

不正な検定で「一発不合格」



1930年ロンドン海軍軍縮会議 決定 米英日の補助艦の比率

自由社が米英日の補助艦の比率を「10:10:7」と書いたら「不正確」「6.975とすべき」とされた。ところが、帝国書院も日本文教出版も「米10:英10:日7」と概数で書いて何の検定意見もついでない。自由社を不合格にするダブルスタンダードの不正検定だ。こんな箇所が30件以上もみつかった。

◎意見2/議事録作成など「不正検定」を二度と許さない検定制度の改革を!

令和元年度検定で「一発不合格」となった自由社の『新しい歴史教科書』は、令和2年度、検定に再申請して合格。不死鳥のごとく甦りました。令和3年度に採択にエントリーできます。

◎意見3/「自虐史観」を克服し、「我が国の歴史に対する愛情」(学習指導要領より)を深める自由社の教科書を応援しよう!

意見広告企画の詳細 ※参加方法は下記を参照

この呼びかけ広告の内容に賛同し1口1万円以上の寄付をして下さった意見広告参加者のお名前(イニシャルも可)をすべて産経新聞の意見広告の紙面に掲載し、次の2冊の本を贈呈します。

- ①『検定合格 新しい歴史教科書』(自由社)
- ②藤岡信勝他著『教科書検定崩壊』(飛鳥新社)

〔発起人〕加瀬英明(代表 外交評論家) 西尾幹二(元つくる会会長)
 小堀桂一郎(東大名誉教授) ケント・ギルバート(米加州弁護士)
 葛城奈海(ジャーナリスト) 大高末貴(ジャーナリスト)

令和三年四月六日

令和元年度の教科書検定で、中学校では十五年間も絶えていた「従軍慰安婦」という言葉が山川出版社の教科書に復活しました。この言葉と結びつけられていた「強制連行」「性奴隷」などは日本政府も対外的に事実無根として否定しています。また「自虐史観」克服の先頭に立つて来た新しい歴史教科書をつくる会の歴史教科書(自由社刊)は、検定意見数がページ当たり一・二箇所以上あるとして「一発不合格」となりました。

その後、他社の合格した教科書と比較してみると、全く同じ記述が他社はすべてパスしているのに、自由社は検定意見が付けられたというケースが三十件以上もあったことが判明しました。基準を二十九箇所上回ったことを理由にした「一発不合格」は、これだけで取り消しが必要になります。

「自虐史観」と「不正検定」に毒された教科書検定の在り方を、いま改革しなければ日本は滅びます。この危機感から、意見広告を企画しました。ご賛同いただきました、心より呼びかけます。

「不正検定」を正す 5月20日産経新聞掲載予定 意見広告の参加者募集!

教科書検定の仕組み

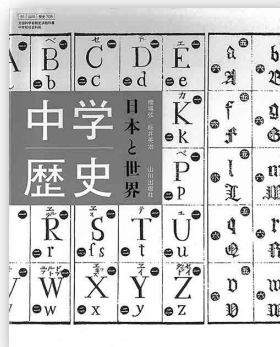
令和元(2019)年度



※文部科学省のホームページによる

「従軍慰安婦」15年ぶりに復活

■山川出版社
 「中学歴史 日本と世界」p.247



戦地に設けられた「慰安施設」には、朝鮮・中国・フィリピンなどから女性が集められた(いわゆる従軍慰安婦)。

下線をつけた箇所には次の問題がある。

- ①「慰安施設」ってなあに?と中学生に問われたら答えに窮する。生徒の発達段階に沿わない。
- ②慰安婦の4割以上を占めていた日本人慰安婦を無視。「誤解するおそれ」がある。
- ③「河野談話」の文言をそのまま使ったというの

だろうが、「いわゆる」は「世間で俗にいわれているところの」という意味だから「河野談話」に基づいても教科書では使ってはいけない用語。政府の統一見解にも反する。世界中で義務教育段階の教科書にこんなことを書く国は日本だけだ。

【閣僚・政治家の発言】

- 加藤勝信官房長官「『従軍慰安婦』は日本政府は使っていない」(2月8日衆院予算委)
- 萩生田光一文科大臣「検定審の学術的専門的審議の結果だ。訂正はしない」(3月22日参院文教科学委)
- 有村治子参院議員「政治決定権者でない教科書調査官が、事実上、慰安婦問題に向き合う国家の方向性を決めてしまう現状には、構造的に問題がある」(同上)

◎意見1/教科書から「従軍慰安婦」の記述を削除して下さい!

参加方法

5月13日までに1口1万円を寄付する
右の②の方は住所・氏名をFAXまたはメールでお知らせ下さい。

意見広告参加の
寄付金の振込先

- ①郵便振替口座 [記号番号] 00100-9-731588
- ②ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュー)店 当座 0731588
口座名義はいずれも 文科省「不正検定」を正す会 となります。

広告主催者:文科省「不正検定」を正す会 代表:加瀬英明
 連絡先 〒112-0005 東京都文京区水道2-6-3-2F 電話 03-6912-0047 FAX 03-6912-0048
 ●メールアドレス:fuseikenteiwotadasukai@gmail.com